

キャラクター名  
沫那美 凧

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	ハッカー	カヴァー	高校生
	モルフェウス					
オプション			年齢	16	性別	男
覚醒	渴望	衝動	闘争		初期侵食率	38 %
出自	権力者の血統		経験	逃走	邂逅	貸し

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	11
感覚	4	0	1			5	(非装備時)	11
精神	0	1	0			1	戦闘移動	16
社会	2	0	0			2	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉	1	
回避			知覚			意志	8		調達	1	
運転:	10		芸術:			知識:	2		情報: 社会 4+カバ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 要人への貸し	
ウェポンケース	
クリスタルシールド	
使用者	
パワーアシストアーマー	
フォールンヴィークル: 二輪(ロボ)	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
秘密兵器《トイボックス》	P	N		
猫川美亜	P 友情	N 劣等感		
両親	P 尊敬	N 敵愾心		
御巫 鮮花	P 友情	N 劣等感		
カース	P 誠意	N 無関心		
エリザベータ	P 好奇心	N 敵愾心		
二条桜花	P 尽力	N 隔意		

最大財産P: 6    残り財産P: 20

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
クイックダッシュ	1	4	セット	至近	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動を行う								
サポートデバイス	7	6	セット	至近	自身	自動	80	
効果: 肉体選択 判定ダイス+Lv×2								
巨匠の記憶	1	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果: 運転芸術知識情報ダイス+Lv個								
コンセ: モル	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果: C値-Lv 下限7								
創造の御手	5	3	メ/リ	-	-	-	ピュア	
効果: ダイス+5								
黄金錬成	5	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 常備化P+Lv×10								
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: カバーリング 行動済みにならない								
マシンモーフイング	5	3	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 意思で購入 達成値+Lv×2								
錬金秘本	1							
効果: 黄金錬成の係数を×15に								
テクスチャーチェンジ	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: アイテムの外見を変更								
万能器具	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: その場の物で日用品を作る								
文書偽造	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: あらゆる文書を偽造できる								
成分分析	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 構成要素等あらゆる解析ができる								

(夜に追記します)  
 今北産業  
 ・家がデカいIT企業の経営者  
 ・家を継ぎたくないの周囲には隠していて親にも反発している  
 ・絶望的に金銭感覚が無いので独り立ちできないが、機械作りは超一流

両親や周囲からは期待と共に仕事を任せられ、そのすべてを余裕でこなしてしまう為周囲からは後継者筆頭だと目されている。本人はそんなつもりはなく、断つた時の事を考えると怖くて言い出せないだけである。というかわりがいい基本的にはあらゆる分野で活躍できる。自身があらゆる技能に秀でているわけではなく、凧があらゆる分野に対応した機械を作ってしまう為だ。ハッキングならば超一流のハッカーと同等の演算処理を行えるコンピューターを作る、等基本的にはピピりでネガティブ。しかし気弱すぎるわけでもなく、たまに強気になってはから回る。最近ではコツコツと自身のとおきおきの強化に動いているらしい。最も、使うつもりではなく殆ど趣味の領域だが。その辺り、莫大な金額がかかっているが本人からすればお小遣いレベルの額。家が元々金持ちなのと、普段の仕事代が高すぎるせいで感覚がマヒしている。但し庶民の行く店に行けないわけではない。万札とカードしか入ってないが会社の人間から莫大な支持を得ているが本人は欠片も知らないし、知っても逃げる。さらにその噂は他社へとどんどん広まり、謎の天才技師《アワナギ》は最早IT業界や機械関連全般の企業で都市伝説と化している。本人が表に出ないからインドア派なのでヒョロい。髪や瞳が変な色なのは両親に対する反抗であるが、女顔なのであまりチャラさが出ない。ピュアは痛そうなので無理とは本人の談。そういってこそ最近両親が宗教にハマったらしい?少々不安がっている